

崖線の話

観察しよう

武蔵野に残る緑地を注意して見ていくと、そのほとんどが国分寺崖線、立川崖線などと呼ばれるものであることがわかります。

この国分寺崖線や立川崖線は、古代多摩川が南へと流れを変えていく過程で武蔵野台地を削り取ってきた、河岸段丘のつらなりです。

崖線にはかなりの数の湧き水がありますが、特に国分寺崖線は湧き水が多く、より集まって野川の流れをつくっているほどです。

それらの湧き水があるため、古くから人が住みつき、多くの遺跡が残されているほか、現在は湧き水を利用した市街地の中の親水空間となっています。もちろん、崖線を利用しているのは人だけでなく、さまざまな野鳥や虫たちが住み、小さな面積でも豊かな生態系を形成しています。

このような、崖線がいままで開発されてこなかったのは、崖という利用されにくい地形だったためですが、造成技術の発達により、宅地化が進んできています。

崖線は、長い年月をかけてつくられてきた自然の遺産です。わたしたちの代でこの遺産をなくすわけにはいきません。そのための方法を、みんなで考えなくてはならないのではないのでしょうか。

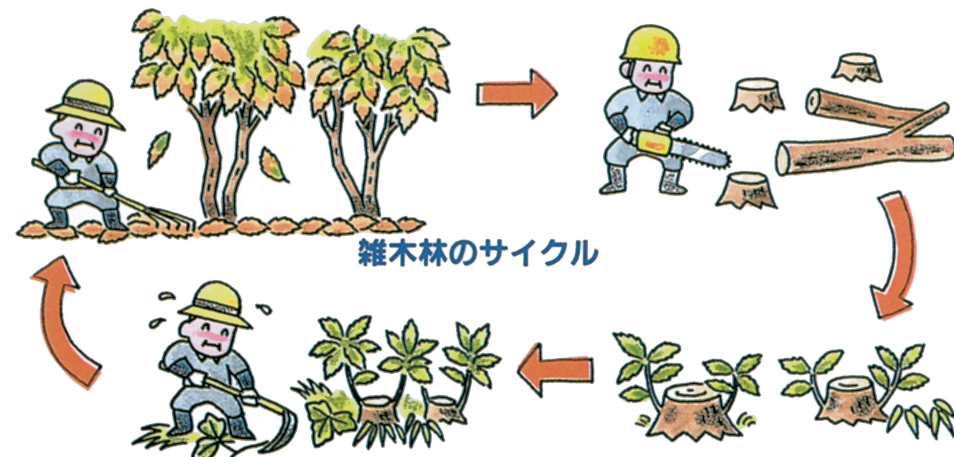


武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は豊原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝へてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といっても宜い」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15~20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となって残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の林の中は、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



ここに注目!調布若葉町コース

1 実篤公園及び実篤記念館

文豪・武者小路実篤の晩年の邸宅を調布市が遺贈をうけ、そのまま公園にしたのが実篤公園。国分寺崖線とよばれる河岸段丘崖をいかしたつくりで、園内の池は崖下の湧水を水源としています。また、隣接して実篤の遺品や作品、収集美術館などを集めた武者小路実篤記念館があり、トンネルで結ばれています。開園時間は午前9時から午後5時まで、休園日は月曜日（祝日の場合はその翌日）と年末年始です。（有料）



2 国分寺崖線緑地保全地域

国分寺崖線は、昔、多摩川が武蔵野台地を削ってきた河岸段丘ですが、宅地化などが進み、樹林地や湧水地の保護を望む声が高まっています。そこで、崖線の緑を守るため、都の国分寺崖線緑地保全地域が指定されました。



このコース上には、実篤公園から連続して南へ延びる崖線に残された、若葉町、入間町の指定地があり、崖線の樹林を保全しています。このあたりの斜面は比較的緩く、宅地化が進んでいますが、残されたこのような緑をこれからも守ってきたいものです。

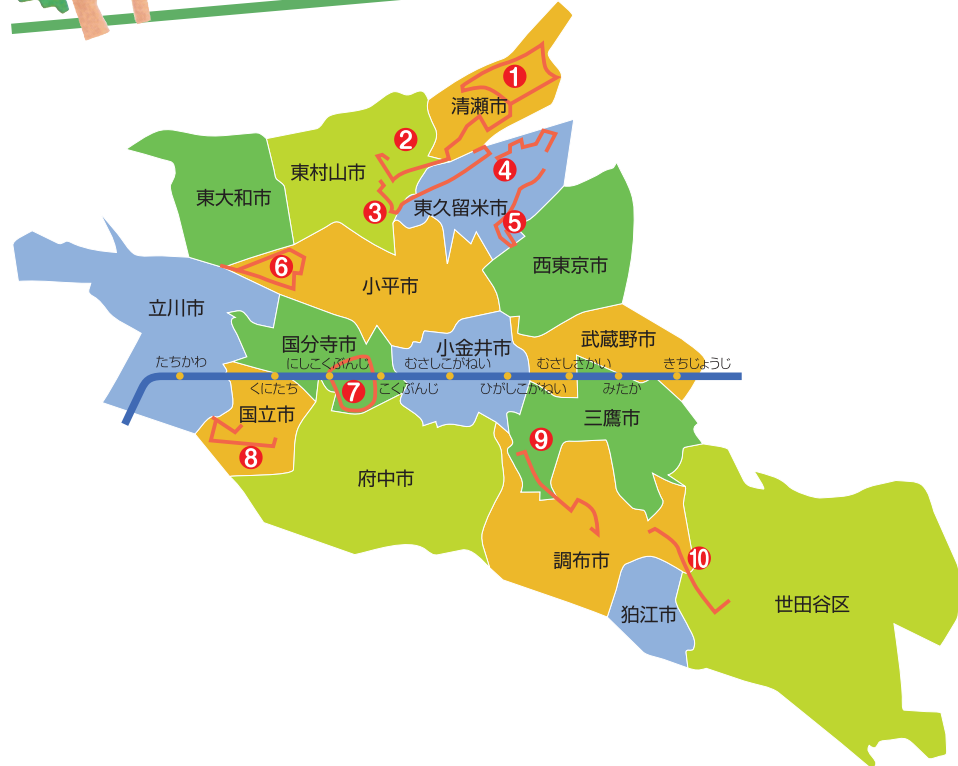
3 成城みつ池特別緑地保全地区

世田谷区に入り、国分寺崖線に沿ってさらに歩いていくと、住宅地の中に緑の森があらわれてきます。これは成城みつ池特別緑地保全地区で、約2.0ヘクタールの樹林のところどころで湧水が湧きだしています。ここでは周辺の土地を含め、世田谷区が成城みつ池緑地として整備を進めています。

成城みつ池緑地は、平成26年度にエントランス部分となる箇所拡張整備工事を行いました。また、成城のシンボルである大きなヒマラヤスギに加え、緑地内に自生していた立派なイロハモミジを移植しました。



「雑木林のみち」は10コース



次の10コースを「雑木林のみち」として選定しました。

コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
1 清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.6km	畑の広がりや屋敷林	清瀬市
2 松山・青葉町コース	森のごみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
3 黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.0km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市
4 小山・金山コース	丘のごみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
5 南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
6 玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
7 国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
8 矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
9 野川・深大寺コース	ハゲの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
10 調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖線樹林	調布市・世田谷区

「雑木林のみち」へようこそ

■「雑木林のみち」とは

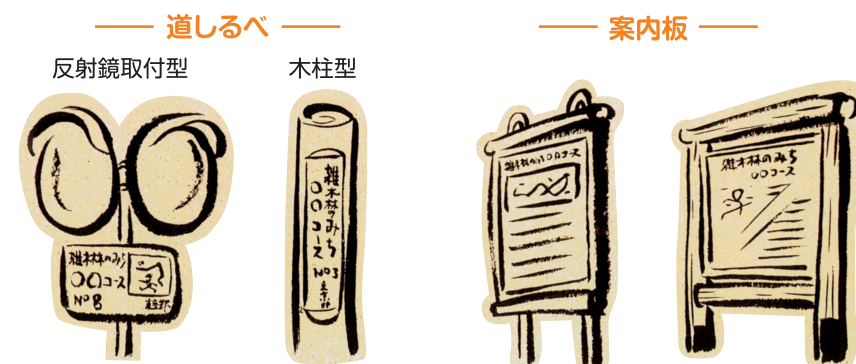
東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。

■「雑木林のみち」の特徴

1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良く残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散歩や自然観察に向いている。
2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散歩できる。
4. 電車やバスなどの交通の便がよい。

■「雑木林のみち」の歩き方

「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、ところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散歩してみると、新たな発見があるかも知れません。



雑木林のみち

調布若葉町コース○調布市・世田谷区○延長4.6キロメートル
交通○新宿から京王線で20分つづけ丘駅南口下車



雑木林のみち・調布若葉町コース

登録番号令和5年度第57号
環境資料第35070号
編集年月 令和6年3月
発行年月 令和6年3月
編集発行 東京都環境局
新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL03(5388)3555
印刷 株式会社国際地学協会
イラスト 川上洋一、(有)ゼフィルス御手洗 望



10 調布若葉町コース こもれびのみち

